

みんなのぎかし

すもと市議会だより

2017.1.15 Vol.42



「新しい歴史の1ページを…」

CONTENTS

12月定例市議会の概要・常任委員会の動き・議会日程	…(2)～(5)
一般質問	…(6)～(12)
議決結果	…(12)
新年あいさつ・議員研修	…(13)
特別企画 さよなら議場	…(14)～(15)
議会報告会・編集後記	…(16)

2017.1.1 7:12撮影 厚浜海岸



編集発行 洲本市議会 洲本市本町三丁目4番10号 TEL.0799-22-3334 FAX.0799-22-3092
ホームページ <http://www.city.sumoto.lg.jp/>

洲本市議会

検索



円の補正予算を可決

国の2次補正予算に対応

国2次補正予算を活用して、ため池整備事業が実施されます。全国のため池は約19万カ所。特に西日本に多く分布しており、兵庫県は約3万8,000カ所と日本一です。市町のため池数では、淡路市は約1万

カ所と日本一です。市町のため池は多くのため池が存在します。淡路島にため池が多い理由は、大きな川がないことから、農業用水を確保するために数多く造られました。

12月定例市議会には専決処分の報告と、国の平成28年度2次補正予算を含む21議案が上程され、すべて会一致で可決しました。国の補正予算は農林水産関連予算に重点が置かれていました。他に地域振興・定住対策、子育て対策、高齢者対策、障害者対策、防災対策、災害復旧事業など、一般会計で10億8,700万円、特別会計で8,111万3,000円の補正予算が計上されました。

補正予算の主な内容

- 牛舎、堆肥舎の整備に対する補助金 4,643万円
- こめ農家等への機器購入補助金 1,332万1千円
- 担い手確保経営強化支援機器購入補助金 948万円
- 由良町漁協製氷貯水施設整備に対する補助金 5,360万円
- 臨時福祉給付金(1人あたり15,000円)の給付 1億9,800万円
- 加茂小学校エレベーター設置工事 4,500万円
- 認定こども園整備事業 3,600万円
- ため池等整備事業 2,095万8千円

総務常任委員会 議案審査

補正予算と
給与改定など
議案8件を審査

Q 緑化推進事業のビニールハウスを撤去して、他に新たな対応をするのか。

A 「五色緑合事務所」洲本市緑花推進協会のビニールハウスは築18年になる。

花苗が安くなつたため、花作りによるまちづくり事業に転換することになった。

Q 国の人事院勧告に基づく市職員の給与改定は、4月に遡り、年内に差額が支払われるのか。

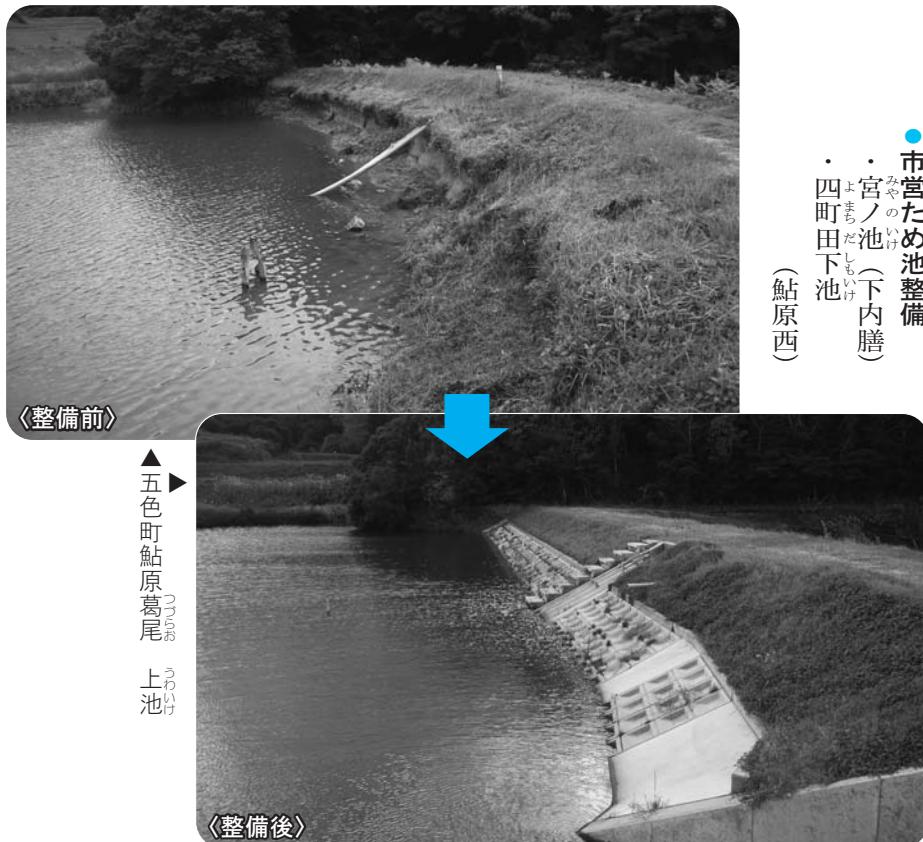
A 「総務部」そのようになる。



▲健康福祉館

Q 地域手当に関する特例の条例について、毎年条例改正提案するのではなく、国が不支給地にしている下で、条例そのものの廃止はできないのか。
A 「総務部」他市の状況などを勘案し、廃止は難しい。
Q 健康増進課が残るもの、新庁舎に健康福祉部が移った後、現在の「洲本市健康福祉館」の名称は変わるのか。
A 「総務部」変わらない。

総額11億6,811万3千



現在は農業従事者も減少したことから安全管理が難しくなっており、決壊すると大きな被害が出るため、国の補正予算を活用して改修が行われます。

ため池調査計画

- 市営ため池整備
- ・西ノ下池（中川原町三木田）
- ・鴨根池（納）
- ・四町田下池（納）
- ・大城池（鮎屋）
- ・宮ノ池（下内膳）
- （鮎原西）

以上の合計で、ため池等整備事業費は2,095万8,000円の補正予算になっています。

県営ため池整備

- ・太郎池（上物部）
- ・宇原皿池（宇原）
- ・平見大池（鮎屋）
- ・ガラガラ池（鮎原塔下）
- ・中ノ池（鳥飼浦）など

行政視察

ふるさと納税42億！

宮崎県都城市へ

11月1日、ふるさと納税制度の先進地である、都城市に行政視察を実施しました。ふ

るさと納税額は29万件で42億円、平成27年度の全国一位となっています。その要因は、「肉と焼酎のまち都城市」のPRに重点を置き、返礼品を「日本一の肉」と「焼酎」に絞つたうえで前面に出し、質・量の供給体制が整っていました。寄附金は、子ども支援として放課後児童クラブを5カ所、子育て支援センターを2カ所追加設置したほか、中学生海外交流事業を10年ぶりに再開したり、新たに、不妊治療費の助成などに活用しています。

都城市は今年度の目標を80億円としています。全国で集まった寄附金総額の1,600億円に対し、



▲都城市的ふるさと納税について説明を受ける

教育民生常任委員会

議案審査

認定こども園、
高齢者対策など
補正予算を審査

ればよいか、公式に話ができる環境が整った。民間と公立が共存するよう検討していく。

Q 老人福祉施設への防犯カメラの設置は。

A 「健康部」三つの施設から希望があり、国の補助金で設置する予定である。

Q 大型ごみ減量化の具体的な対策は。

A 「市民生活部」ごみ減量化に合わせ、



▲元気に玉入れをする保育園児

認定こども園整備について

行政視察

A 「健康部」方向性については、民間とも協議しながら検討している。諸条件が整えば示したい。

認定こども園整備に

要望事項

A 「委員会」福祉関係機関などと連携しつつ、不登校児童・生徒へ登校を促すなど、社会的環境を改善していくなどである。

「ごみの分け方・出し方」についてのパンフレットを作成し、すべての世帯に届ける。

型認定こども園について視察を行いました。

幼稚園と保育園

の機能を合わせ持

ち、両方のよさを

効果的に取り入れ

た保育と教育を一

体的に行うために、

全ての公立の施設

を認定こども園に

移行し、幼児コ

ースⅡ従来の幼稚園

(1号認定)、幼保

コースⅡ従来の保

育園の3歳以上児

(2号認定)、保育

コースⅡ従来の保

育園の3歳未満児

(3号認定)の3

コースを設け、家

庭の状況に応じて

希望するコースを

選択できるようになっています。

安曇野市では、粗大ごみについて、収集運搬委託業者(4社)へ直接依頼し、持ち込みか回収のどちらかを選び、料金などを確認して処分しています。また任期2年間の不法投棄監視連絡員を任命して、



▲認定こども園について説明を受ける委員

・岐阜県恵那市
・長野県安曇野市
11月15日に恵那市幼保連携

A 「健康部」子ども園や保育園との共存はできるのか。児童の人数も減つていく中で、民間とも、本市全体の保育をどうす

産業建設
常任委員会

議案審查

Q 由良町漁協の製氷機や、牛舎整備に対する補助金などの補正予算と、市道認定議案を審査

Q 国の畜産クラスター事業による牛舎などの整備に対しても、補助金が4,643万円計上されているが、この内容は。

A 「農林水産部」畜産クラスターとは、畜産農家をはじめ、地域の関係事業者が連携・結集し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための体制のことで、クラスター計画の知事認可などの条件を満たせば、牛舎整備などに対し半額の補助をする事業である。

Q 野菜農家元気アップ事業の補助金1,333万円の内容は。



▲製氷機が整備される由良町漁協の魚市場

11月14日、エネルギー×自然循環リサイクル×自然共生を柱とする先進都市、北九州市へ。もともと化石燃料を備蓄していた市ですが、これからのエネルギーとして、太陽光発電と洋上風力発電に力を入れています。大きなきっかけとなつたのが東日本大震災。市の産業活動、市民活動を支えるために、地域エネルギーの検討が始まり、平成27年3月、環境省のモデルに採択され、翌4月、市と地元企業8社による「北九州パワー」が

行政
視
察

洋上風力発電について

(A) 「整備部」 小規模の陥没は発生しているが、補修は終わっている。大規模な陥没の危険がないか、定期的に道路パトロールで点検している。

電力供給をスタートしました。この日は、人が居住しない地域に建てられている風車を視察。遊歩道があり、訪れる人も多いとのことです。

プラスチック製と聞いて、とてもびっくりしました。コストや環境のことなど種々の課題はあるものの、今後さらなる期待が膨らみます。

議会日程

平成28年	
11月29日	告示 常任委員長会
12月2日	議会運営委員会 議会報編集特別委員会
12月6日	本会議第1日 (提案説明)
12月8日	本会議第2日 (一般質問 6議員) 議会運営委員会
12月9日	本会議第3日 (一般質問 6議員) 議会運営委員会
12月12日	産業建設常任委員会
12月13日	教育民生常任委員会
12月14日	総務常任委員会
12月15日	議会運営委員会
12月16日	本会議第4日 (採決)
平成29年	
1月4日	議会報編集特別委員会



▲非居住地区に設置された風車を視察

次バリ!! ここが聞きたい

福本 巧 P.6

- 認知症高齢者対策の推進について
- 防災対策について

笹田 守 P.7

- 農業委員会活動状況について
- 放置空き家及び空き家バンクの現状と課題について

間森和生 P.7

- 新庁舎と市民サービスなどについて
- 放課後の子供の安心・安全について
- 高齢者の外出支援・買い物支援について

小野章二 P.8

- 洲本市総合基本計画策定について
- 安全で安心な暮らしの実現について
- 行財政改革について

平郡 平 P.8

- 防災について
- 洲本のたぬきの活用について
- 青少年の体験学習の機会拡大について

地村耕一良 P.9

- 今後の学校教育並びに教職員の資質向上について
- 閑空－洲本航路について

A は。 **Q** 今年度、全町内会に実施マニュアルなどを配布し、地域の実態に応じた支援体制の構築に向けた協力を依頼している。また、避難訓練では、今後モ

A 災害時要支援者の支援体制の整備は。

Q 今年度、全町内会に実施マニュアルなどを配布し、地域の実態に応じた支援体制の構築に向けた協力を依頼している。また、避難訓練では、今後モ

A この先、さらに認知症の方が増加することが予想される中、認知症を正しく理解し、その当事者や家族を見守り支援する認知症サポーターの養成は大切と考える。今後、会社、町内会や老人会などにも声掛けしていきたい。（健康福祉部長）

A 県が実施の講座などを活用し、防災リーダーの育成を図り、地域防災の向上に努めたい。（総務部長）



▲福祉避難所への避難訓練

近藤昭文 P.9

- 市道の管理・交通事故防止対策について
- 中川原スマートICについて
- 公共下水道及び合併処理浄化槽設置について

小松茂 P.10

- 洲本市公共施設等総合管理計画について
- 子ども・子育て支援事業計画について
- 交通体系について

先田正一 P.10

- 情報通信の活性化について
- 防災・減災対策について
- 社会教育施設、コミュニティの充実について

木戸隆一郎 P.11

- 行財政改革について
- 子育て支援について

中野睦子 P.11

- 再生可能エネルギーについて
- ふるさと納税について
- 幼少期の子育て応援について

片岡格 P.12

- 新年度予算編成について
- 再生可能エネルギー問題について

※ここに表示した質問項目は、定例会で実際に行った質問を全て記載しています。
ただし、各記事に全ての質問・答弁が掲載されているとは限りません。



福本巧（宙）

災害時に実効性がある体制の整備を要望

Q 今後の認知症サポートキャラバンの取り組みは。

A 今後、県関係団体や動物愛護センターと連携を図りながら、さまざまな検証を行い、支援体制の整備に努めた

Q 時要支援者に特化した訓練を実施したいと考えている。（総務部長）

A 呼びかけにも関わらず、参加者が無かつた先般の防災訓練を踏まえ、外国人が伝達や、SNSなどの活用により、有効な防災情報の提供に努めたい。（総務部長）

Q 多様化する避難災害対策は。

A 重要視すべきと考える。災害時のペット対応は、対策において、災物対策は。

規制緩和で田舎暮らしの推進と遊休地解消を

笹 田 守（志）
（市長）



Q 再生可能な荒廃農地の現状と今後の取り組みは。

A 再生可能な荒廃農地面積は89ha、筆数1,650筆、農家戸数約800戸。そのうち本市に住民登録がない所有地面積は28ha、筆数541筆、農家戸数250戸である。再生困難な荒廃農地面積は54ha、筆数998筆である。（農業委員会事務局長）



▲再生した古民家(ついどはん)

戸数約800戸。そのうち本市に住民登録がない所有地面積は28ha、筆数541筆、農家戸数250戸である。再生困難な荒廃農地面積は54ha、筆数998筆である。（農業委員会事務局長）

Q 農地の現状と今後の取り組みは。

A 再生可能な荒廃農地面積は89ha、筆数1,650筆、農家戸数約800戸。そのうち本市に住民登録がない所有地面積は28ha、筆数541筆、農家戸数250戸である。再生困難な荒廃農地面積は54ha、筆数998筆である。（農業委員会事務局長）

市内の空き家を購入した移住者、U・J・Iターン者に対し、空き家財などの撤去、処分費、登記や移転費、内覧見学に要する交通費などの一部を補助している。（企画情報部長）

Q 新庁舎と五色庁舎の市民サービス

A 各種証明書の発行や届け出など、手続きは複数の窓口で行っていたものを本庁舎で行う。（総務部長）

Q 新庁舎でのワンストップサービス

A 市民に不便さを感じさせないよう万全を尽くしたい。

Q 放課後の子どもの安全

A 共働きの家庭を支援するため、学童期の放課後の居場所の充実は。

Q 農地に対し、国の制度などを活用し、荒廃農地の再生利用を進めることを踏まえ、例えば放牧など米を作る以外の方法によると、荒廃農地が増加傾向にあることを踏まえ、多様な施策を講じる。



▲現地解決機能が確保される五色庁舎

Q 外出支援や買い物支援充実は。

A 市としては「ミニバス運行やタクシー援・買い物支援の券助成事業に取り組んでいる。（企画情報部長）

市民サービス充実と五色庁舎の業務確保を

間 森 和 生（日本共産党）
（市長）



Q 入り口にスロープを設置、店内もバリアフリーに。視覚障がい者にもわかるよう、触知案内サインや、情報案内装置、音声案内など



▲現地解決機能が確保される五色庁舎

Q 高齢者の外出支援・買い物支援の券助成事業に取り組んでいる。（企画情報部長）

Q 新庁舎でのワンストップサービス

A 各種証明書の発行や届け出など、手続きは複数の窓口で行っていたものを本庁舎で行う。（総務部長）

Q 農林水産業務について、新年度からの組織再編などの検討は。

Q 放課後の子どもの安全

A 今後も子どもにとつてふさわしい場所になるよう努めていく。（健康福祉部参事）

Q 市として「ミニバス運行やタクシー援・買い物支援の券助成事業に取り組んでいる。（企画情報部長）



淡路3市の連携 コラボ事業の拡大を

小野 章二（志）

総合基本計画策定

Q 本市の最上位計画である総合基本計画が、平成29年度で最終となる。平成30年度からの、総合基本計画策定を考えているのか。

A 引き続き策定する方向で考えている。期間は10年間を想定している。

（企画情報部長）

にし、暴力団追放運動に取り組む。協議会設立は今後、検討をさせていただく。（市民生活部長）

Q 新庁舎の市民開放・見学会は。

A 市民の交流スペースとして、洲本の大広間を設けイベントなどに活用いただく。また、見学会の実施を予定している。（総務部長）

ノトを検討している。（理事）

八狸の認識と活性化

Q 民話から派生した八狸についての認識と、商工会議所八狸委員会との協働による活性化策の進展は。

A 江戸から明治中期に町中で多くのたぬき民話が語り継がれてきた。これらの話が整理され、柴右衛門を代表とするたぬきの一族として商工会議所八狸活性化センターにより、イメージキャラクターが誕生した。以降、まちの活性化事業を展開している。市としては、活性化につながることが期待できる取り組みであると認識している。（企画情報部長）

柴右衛門の有効活用

Q 「くまモン」は、

「ここでも「くまモン」。地域に大きく貢献している。これは、当局が名称を統一し、後押しした成果である。

A 同じ姿形のたぬきの呼称が異なる使用状況は、効果面からどうなのか。「くまモン」のように、柴右衛門を市の公認キャラ

A 本市で活躍・活用している多彩なキャラクターがあり、これからもいろいろな場面で使わせていただきを考えである。

（企画情報部長）

の中座から里帰りして既に16年、市民権を付与し、職員採用などのPR効果で、観光に、商業に大きなうねりを起しえべきではないか。



民話の遺産、 柴右衛門だぬきの有効活用

平郡平（宙）

（中座から里帰りして既に16年、市民権を付与し、職員採用などのPR効果で、観光に、商業に大きなうねりを起しえべきではないか。）



▲市民になりたい！（柴右衛門）

Q 生命と財産を守る治安の安定なくして、安全で安心な暮らしは担保できない。暴力団追放運動の展開は。関係者の協議会設立は。

A ふむると納税の来年以降の展望は。返礼品として、洲本市出身の堀井雄二さんの「ドーナツエッグズ」を加えたが、堀井さんに関連したイベ

A 警察、防犯協会、また市民の方々との連絡、情報交換を密

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

に

英語教育の更なる推進を要望



地村耕一良（宙）

英語教育

Q 現在の状況、今後の対応は。

A 小中学校では、児童生徒が、A4T、英語指導助手による生きた英語に親しむことができるよう取り組んでいる。また、グローバル化が急速に進展する中、「ミニユーチーシヨン」を取り組んで、英語が有効なツールの一つであることを認識し、自分の考えを英語で表現することができる力をつけていきたい。（教育長）

A 今後、どのように取り組むのか。現在、兵庫型体験教育が展開され、ふるさとを愛する心の醸成への取り組み

Q ロボットによるプログラミング教室の積極的な実施は。

A 論理的な思考力の重要性を踏まえ、プログラミングのパートや指導者の育成など、環境を整えた中で、導入を検討したい。（教育長）



▲夢を現実に、ロボット教室

インバウンドに対応できる施設の整備計画

Q 関空—洲本航路の運航に伴い、インバウンドに対応できる施設の整備計画の策定は。

A 今後、兵庫県や淡路島内の市、観光事業者、交通事業者などの関係団体と連携し検討したい。

（企画情報部長）

市道の維持・修繕要望への迅速な対応を



近藤昭文（日本共産党）

市道の管理・交通事故防止対策

Q 鋼装のひび割れ・段差や凸凹、草刈り、薄くなった白線など修繕の苦情・要望には、予算の確保も含めて丁寧な説明や迅速な対応を。

A 道路を安全に通行できるように維持管理を行うことは当然であり、予算の確保に努め、通報には緊急度などを勘案し、実施している。（都市整備部長）

A 道路パトによりリストアップし、順次引き直しを行っている。（都市整備部長）

Q 周辺整備について、今後の見通し。

A 初から用地境界立ち会いを行い、現在用地取得に向けた交渉を進めている。（都市整備部長）



▲順調に工事が進む中川原スマートIC

小学校区の通学路点検の取り組み

Q 小学校区の通学路を開催。年度内に4回目を開催し、取りまとめ結果を踏まえて検討を進め、検討会議も開催したい。（企画情報部長）

A 市内13の小学校を2グループに分けて、隔年ごとに実施。防護柵の新設・更新、注意喚起看板の設置などの工事を、平成24年度から27カ所で行った。その他、公共下水道及び合併処理浄化槽設置事業で、市民の負担軽減について質問しました。

地域活性化ワーキシヨップを3回

Q 地域活性化ワーキシヨップを3回

A 市内13の小学校を2グループに分けて、隔年ごとに実施。防護柵の新設・更新、注意喚起看板の設置などの工事を、平成24年度から27カ所で行った。その他、公共下水道及び合併処理浄化槽設置事業で、市民の負担軽減について質問しました。

超小型モビリティ活用を提案

小松茂（宙）
（公明党）



関空航路再開後の 市内回遊交通

Q 淡路島ぐにうみ 協会が、11月30日 まで淡路市で超小型モビリティの社会実験を行っていた。私も試乗

A 一定の制限の中で社会実験が続けられていた。今後、安

Q 改修中の太郎池などの進捗状況は。

A 平成29年度に炬口ポンプ場の新設工事に着手。洲浜ポン

Q ポンプ場の増強などの計画は。

を行い、観光客誘致につなぐ取り組みを提案する。



▲超小型モビリティ

A 路線バスの、ポートターミナルビル前を経由しての運行は考えられないか。

Q ポートターミナルビルにレンタカー事業者を誘致できな

A バス事業者が判断することだが、

船からバスへの乗り換え需要により、市としての働きかけを考えて

Q モビリティで工口に觀光を」とキャンペーン

A 行政だけが取り組むのではなく、観

光協会や種々の業界が一緒にになって取り組み、新たな事業を呼び込む機会につなげていける

Q ポートターミナルビルにレンタカーサービスを誘致できないか。

A 有効な交通手段の一つであると考える。

（企画情報部長）

（企画情報部長）

（企画情報部長）

（農林水産部長）

（市長）

</div



持続可能な財政確立とさらなる子育て支援を

木戸 隆一郎（「志」）

行財政改革

Q 財政運営方針は平成29年度までの計画である。持続可能な財政基盤の確立とともに、将来へ負担の先送りにならないよう、世代間の負担を公平にすべきと考える。引き続いての策定は。

A 導入されれば、29年度決算から財務諸表などの分析を行える。その上で検討していく。（理事）

子育て支援

Q スマホなどで提供される「子育てアプリ」を導入し、利便性を高めては。子どもや保護者の顔を見ながら声

をかけられる距離を大切にしたい。（健康福祉部参事）

Q データの保存や予防接種の管理などに便利な母子手帳の電子化は。

A 紙ベースで記録をしていくことも大事。継続して対面で話を伺いながら、手渡していくことを。（健康福祉部参事）

Q 条例では、都市公園の住民一人当たりの面積は10㎡以上になるよう努める、となっている。現状は2.96㎡であるが。都市公園としている公園も含めると4・45㎡となる



▲公園の遊具の充実を！



魅力ある洲本市づくりのために

中野睦子（「志」）

Q 再生可能エネルギーについて、本市のこれまでの取り組みは。

A 旧五色町時代の平成7年からスタートし、22年に持続可能な成長モデルを構築すべく、「あわじ環境未来島構想」を淡路3市と県で策定。バイオマス・太陽光・風力など、さまざまなプロジェクトを進めている。（農林水産部次長）

Q 風力発電の取り組みは。平成24年度に神戸大学と連携して風況シミュレーションを実施した結果、事業化の可能性があり、26・27年の2カ年で自然環境や社会環境などに開

する基礎調査が実施され、今年度、環境省のモデル事業の採択を受けた。28・29年度は環境面・経済面で適地を決定し、事業者公募の手法検討を行うべく、地元関係者が参画する協議会を設置していく。（農林水産部次長）

Q ふるさと納税の今年度の見通しは。件数・金額とも

A 昨年度より増えており、今年度末の決算は5億円を超す見込み。使途については「洲本の未来を担う子どもたちの夢を実現していく事業」が一番多い。（理事）

Q 今後の返礼品については。○種類程度を提



▲目玉商品のドラクエグッズ



再生エネルギーを 地元産業雇用につながる事業に

片岡 かたおか
(日本共産党)

格 なだし
(日本共産党)

新年度予算

Q 厳しい財政状況であるが、来年度の予算想定額は。

A 現在編成中だが、平成27年度決算では、当初予算より減額であったので約2億7,000万円弱、低く見積もっている。(理事)

Q 税収見込み額は。また、人口減少による交付税の減額は。

A 税収は前年度同額を見込んでいる。人口減は交付税算定の大きな要因であるが、影響は今後試算する。

(理事)

A 特に力を入れる新たな柱としての事業は。

総合戦略の継続的、効果的な展開

に資する事業を優先的に実施することとしている。(企画情報部長)

Q 事業化を検討中

A の五色沖の洋上風力発電において、協議会の立ち上げは。また、今後、推進していくうでの課題は。

A 早急に人選などを進めたい。再生エネ推進は、地域の活性化や振興に、いかに結びつけるか。地域一体になつて基準作りを協議会の中で進めていきたい。

Q この事業が用につながる事業になることを期待するが。

(農林水産部次長)



▲北九州市響灘における風力発電機

A 再生エネルギー事業は、地域の方々にも受け入れられるよう事業の推進を考えている。(農林水産部次長)

Q 太陽光発電において、反射光、土砂崩壊など問題が続いている。条例化などの法整備が必要では。

A 再生エネルギー推進条例としては一定の枠組みを整えているが、さらなる取り組みが必要かどうか検討する。(農林水産部次長)

A 推進条例としては一定の枠組みを整えているが、さらなる取り組みが必要かどうか検討する。

Q この事業が用につながる事業になることを期待するが。

議決結果

【全会一致により可決、同意】

- 議案第61号 平成28年度洲本市一般会計補正予算（第3号）
- 議案第62号 平成28年度洲本市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 議案第63号 平成28年度洲本市由良財産区特別会計補正予算（第1号）
- 議案第64号 平成28年度洲本市堺財産区特別会計補正予算（第1号）
- 議案第65号 平成28年度洲本市土地取得造成特別会計補正予算（第2号）
- 議案第66号 平成28年度洲本市下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 議案第67号 平成28年度洲本市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 議案第68号 平成28年度洲本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 議案第69号 洲本市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第70号 洲本市職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第71号 洲本市福祉事務所設置条例及び洲本市健康福祉館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第72号 洲本市税条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第73号 洲本市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第74号 市道路線の変更について（市原安坂線）
- 議案第75号 市道路線の変更について（摺井線）
- 議案第76号 市道路線の変更について（市原久保田線）
- 議案第77号 市道路線の変更について（古宮市原線）
- 議案第78号 市道路線の認定について（射場線）
- 議案第79号 市道路線の認定について（中川原停車場線）
- 議案第80号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 議員提出議案第4号 市長の専決事項の指定について

新年あいさつ

議長 山本和彦



副議長 上田昌孝



所新庁舎が完成し、業務の開始が目前です。市民の皆さんに愛され、親しまれ、市民福祉の向上と、まちの活性化に寄与する庁舎となりますことを願っています。

また、災害時には復旧・復興の拠点となることを期待しています。

市議会といたしましては、市の議決機関として、安全で安心して暮らすことができるまちづくりを目指して、今後さらに創意工夫を重ね、市民の皆さま方に期待に応えられるよう決意を新たにしておりますので、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年、明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新年を、ご家族お揃いでお健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日頃より、市政の発展と議会運営に対しまして、ご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、市民の皆さまもご存じのとおり、待望の市役

議員研修

「くにうみの里」を見学



◆10月12日

議員研修として、旧県立淡路病院跡地に整備された特別養護老人ホーム「くにうみの里」を見学しました。

今年一年が、市民の皆さんにとって、幸せで笑顔あふれる年となりますことを心からご祈念いたしました。新年にあたつてのごあいさつといたします。



ホームなどを備えた、高齢者や障がい者などが安心して暮らせる複合型福祉拠点を整備しようとするものです。

ショートステイ（介護予防一定員10名）、認知症対応型デイサービス（介護予防・定員12名）、居宅介護支援事業（介護予防支援）の併設事業を行います。

平成27年11月末より工事着手し、高齢者施設については平成28年11月1日に開設しました。

見学した日は、開設に向けての準備が忙しい中、担当職員の方々に施設の案内と説明をしていただきました。介護職員が腰を痛めることが多いため、クッション性のある床を採用するなど、入所者の快適な生活はもちろん、介護職員が働きやすいようにさまざまな配慮がなされていました。

見学した日は、開設に向けての準備が忙しい中、担当職員の方々に施設の案内と説明をしていただきました。介護職員が腰を痛めることが多いため、クッション性のある床を採用するなど、入所者の快適な生活はもちろん、介護職員が働きやすいようにさまざまな配慮がなされていました。

今後、平成29年度以降に障がい者施設の整備に着手する予定となっています。また、残地約5,000m²につ

な

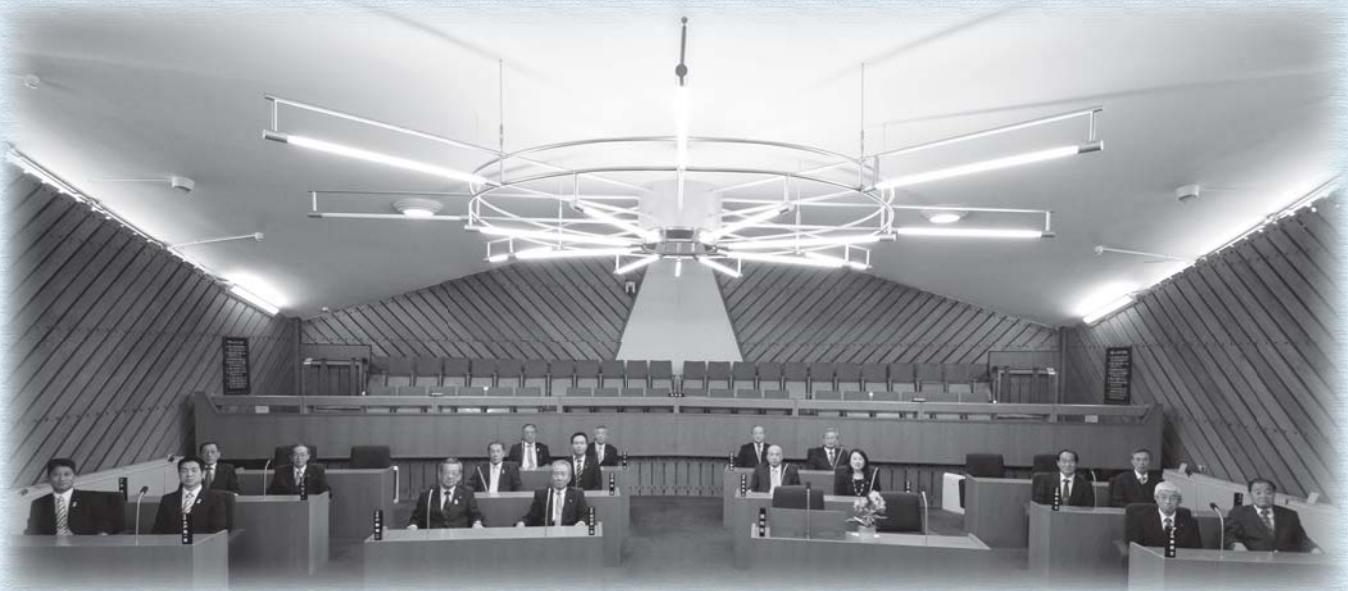
ら

議

場



昭和36年、京都大学教授を務めた建築家・増田友也氏により設計、昭和38年に完成した、洲本市役所本会議場。平成18年2月11日の新市発足後も、引き続き、さまざまな議論が交わされ、今日の本市の歴史を作ってきました。
そして、平成28年12月6日、12月定例市議会が開会され、16日に閉会。
五十有余年の歴史を重ねてきた議場は、静かにその役目を終えていきました。
本年3月の定例市議会からは、新庁舎の本会議場へと、そのバトンを渡します。
万感の想いを込めて、今、数々の思い出をひもとき、その歴史をふり返ります。





第7回洲本市議会議員（昭和39年6月29日）

現庁舎が完成した頃の、本市議会議員の集合写真です。



子ども議会(H23.12.21)

市内13小学校の児童代表が集まり、「すもと子ども議会」が合併後初めて開催され、子ども目線で、市政への疑問や提案を、市長や幹部職員にぶつけました。



大野小議場見学(H27.2.25)

6年生56名(2クラス)が議場見学に訪れました。初めて入る議場に、みんな興味津々でした。



役員改選(H19.3.26)

すべての議案を採決し、その後、正副議長を選挙にて選びます。この選挙により、議長に小松議員が選出され、副議長に笹田議員が選出されました。



手話通訳(H26.9.18)

手話言語法制定に関する請願が採択されました。審査報告などの傍聴に対して、本会議場にて手話通訳を行いました。「手話を言語に！」の第一歩となりました。



議場コンサート(H27.9.2)

PAC兵庫芸術文化センター管弦楽団の選抜メンバーによるミニコンサートが開催されました。弦楽四重奏の調べに、大きな拍手が送られました。

意見、要望を議会活動に役立てるよう努める

由良連合町内会と上灘連合町内会との共催で開催

10月28日、由良公民館において、由良連合町内会と上灘連合町内会との共催で、第13回議会報告会を開催し、市民53名が参加しました。



▲活発な意見が出された議会報告会（由良公民館にて）

はじめに議長から、「この報告会は平成22年度秋から開催しております。説明責任を果たすとともに、議会の活動内容を市民に報告し、ご意見をいた

だき今後の議

会活動に生かしていこうとするもので、議会の仕組み、

市の事業や予算の状況、市政の主な内容を報告する」

と述べました。

共催者である由良連合町内会長から、「多数の方の参加に感謝。

地元の抱えている諸問題を

共有していた

だき、皆さん

の意見への回答も、よろしくお願いした

い」との挨拶がありました。その後、議会運営委員会、総務・教育・民生・産業建設の3つの常任委員会、決算特別委員会から、9月定例市議会をはじめ、閉会中の調査などの内容について報告を行いました。

参加者からは、「新聞で『大型ごみ処理の有料化を可決』を見て驚いた」、「政務活動費が富山市議会で問題になっている。洲本市では議員は正しい報告をしていると思うし、襟を正した活動をしてもいいたい」、「防災に関して、65歳以上の支援調査で、811名との報告があった。由良では何%になるのか。町内会に言われても、どうやればいいのか難しい」、「南海トラフ地震の避難では、自分の命は自分で守ると住民は覚悟しなければならないが、自主的な避難

対策の道筋を行政につけてもらえれば」など活発な意見が出され、担当の議員から答弁をさせていただきました。

今回寄せられた貴重なご意見やご要望につきましては、今後の議会活動に役立てるとともに、理事者側にその旨を

い」との挨拶がありました。その後、議会運営委員会、総務・教育・民生・産業建設の3つの常任委員会、決算特別委員会から、9月定例市議会をはじめ、閉会中の調査などの内容について報告を行いました。

参加者からは、「新聞で『大型ごみ処理の有料化を可決』を見て驚いた」、「政務活動費が富山市議会で問題になっている。洲本市では議員は正しい報告をしていると思うし、襟を正した活動をしてもいいたい」、「防災に関して、65歳以上の支援調査で、811名との報告があった。由良では何%になるのか。町内会に言われても、どうやればいいのか難しい」、「南海トラフ地震の避難では、自分の命は自分で守ると住民は覚悟しなければならないが、自主的な避難



編集後記

◆新年明けましておめでとうございます。昨年は本市におきましては、大規模な自然災害もなく、平穏な一年ではなかつたでしょうか。しかし、全国各地では、地震や豪雨による災害が多数発生しています。天災は忘れた頃にやってきます。自分の命は自分で守る意識を高め、日々の暮らしの中に取り入れてください。◆平成28年最後の定例議会が終了いたしました。そして今議会で現在の議場での定例会も最後になりました。私達新人議員にとつてはあつたかと思います。そして、本年からは新庁舎の議場での定例会開催となります。寂しさと期待する気持ちで、複雑な思いがいたします。◆新たな気持ちで、身を引き締めて議員活動に邁進していきたいと思います。今後も市民の皆さんに、わかりやすく読んでいただけるように編集作業に取り組んでまいります。

（柳川）